

市民参加と議会改革を実現させる会派!

# 市民力 通信 Vol.6

連絡先  
〒271-8588  
松戸市根本387-5  
松戸市議会「市民力」  
電話・FAX  
047-366-7338  
shiminryoku@hotmail.co.jp

## 議会 報告会 第6回

4月22日(日) 午後3:30~  
常盤平市民センター 第1会議室

無料・先着受付

市民力は、市民の皆様いきちんと議会の動きを  
お伝えするため、定例会ごとに  
会派全員そろって報告会をしています。

H24年度予算が決まりました。が…!!

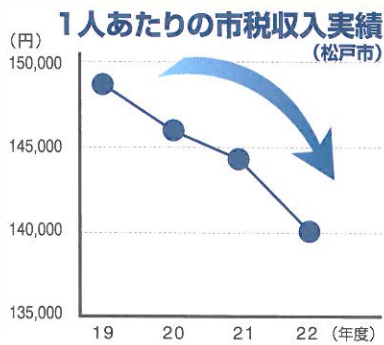
# これで持つのか、松戸の財政!?

平成24年度  
一般会計総額 **1278億3千万円!**

前年比1.5%アップで **過去最大!**

### ① 4年連続、市税収入ダウン!

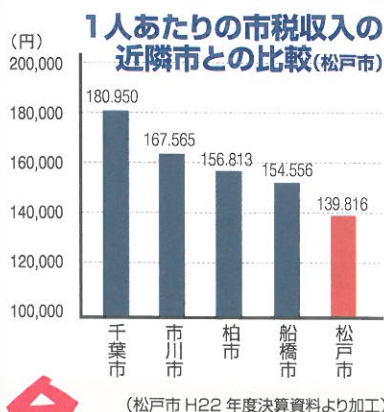
人口は増えているのに税収が  
減るってどういうコト?...と置いていたら、  
とうとう人口も減り始めた! さあ大変!!



一緒に  
かえましょ  
松戸を!  
谷口薫(たにくちかおる)  
昭和10年生まれ。副幹事長。議会最年長。  
〈所属委員会 教育経済/学校跡地検討

### ② 近隣比で一目瞭然! 低い担税力!!

H24年度見込み 13万4,748円  
予算/人口 26万3,616円



松戸の  
未来へ  
全力投球!  
原裕二(はらゆうじ)  
昭和40年生まれ。好物:あんぱん  
〈所属委員会 健康福祉/議会表彰/病院建設検討

### ③ 市民1人あたり 約37万円もの借金! 借金合計1,765億円!!



詳しくは裏面へ →

ただの批判は誰でもできる! 市民力は具体的な政策を提案します。

市民が  
主役の  
街に!  
山中啓之(やまなかけいじ)  
昭和54年生まれ。32才。幹事長。松下政経塾出身  
〈所属委員会 総務財務/議会運営/広報/議会活性化

庶民  
革命派!!  
海老原弘(えびはらひろし)  
昭和27年生まれ。鹿児島県出身  
〈所属委員会 都市整備/議員団役員



人口減少及び市税収入の減少に直面している松戸市に対して、会派「市民力」は、先の議会の代表質問でこの問題を構造的にとらえ、具体的な提案をしました。

## 松戸市の現状と問題点

千葉県は統計調査開始以来、初の人口減少となりました。松戸市もとうとう人口が減り始めました。この1年間で約 2,000 人も減少しています！ 人口減少に伴って、当然、市の税収も減ってきました。市の財政状況の悪化も今後ますます危惧されます。

人口減少の一因として、東日本大震災の福島第一原発事故による「ホットスポット問題」がある事は容易に推測されます。しかし、同様のホットスポットである柏市や流山市の人口が今も増え続けていたり、ホットスポットとはそれほど縁のない市川市の人口が減少していることから、他に原因があると推測されます。また、同

じ松戸市内でも、東松戸駅のある東部地域では子どもの数が増えており、(仮称) 関台小学校の新設が予定されています。

このような事から、これからは地域や時代の変化を見極め、適材適所の施策の展開、税金の投資をしなければなりません。

【県内自治体の人口増減】 (H24.1.31 朝日新聞より一部抜粋)

自治体名	松戸市	柏市	流山市	市川市	船橋市
2011年	▼1916	424	1882	▼2631	1304

(ウ)

## 対策 (市民力の政策提案)

- ① まずは市の人口動態(流入・流出)を、詳細まで調べる。
- ② 次に、その層の特長に見合った施策展開、予算投入をする。

人口が流出している層はどこなのか一年代・地域・男女・既婚未婚・子供の有無など一の内訳をしっかりと把握するよう求めました。

効果的な施策を展開するためにはしっかりと調査をして、感覚によってではなく、客観的な数値・データなどによって事態を分析し、対応せねばなりません。また、地域による人口層の特長によって導入する施設やサービスを絞ることで、効率的で無駄のない財政運用ができます。

今の松戸市に何が足りないのかを知り、人口減少=税収

の減少に歯止めをかけることが重要です。

そして同時に、人口が流入(=増加)している自治体の特徴を分析し、どのような行政サービスを充実させればより多くの人口を獲得し、住みつづけたいと思われる街になるのかを分析し、効果的な施策を他市に先駆けて展開する事が必要です。適材適所への財政投資が可能となるような戦略的なシステムを確立する事を強く求めました。

この代表質問を受けて、市からは早速、協議・研究を始めたことと答弁を頂きました。

## ③ 松戸市の魅力を高める。

松戸市自体の魅力を高めることも必要です。他市から人を呼び、同時に元から住んでいる人たち(=市民)にとって松戸市が魅力の高い街であれば、住民の定住率が高まるからです。具体的な提案例としては、

- スポーツ環境の整備。公共施設のさらなる充実。
  - 七草マラソンのハーフマラソン実現
  - 千駄堀暫定スポーツ広場の拡充、本格運用
  - 図書館や市民センターなどの公共施設の再編整備
- イベントの開催。(経済効果・知名度のアップ)
  - 市政施行 70 周年へ向けたイベント開催
  - B 級グルメコンテストの実施

以上について、3月定例会で一般質問(代表質問)しました。構造的な社会変化に対応し、安心して暮らし続ける事ができる松戸市を目指しています。批判するのは誰にでもできますが、市民力は今後も具体的に対案を示し、政策提案を続けたいと思います。

